

Ⅲ 授賞式（作文・ポスターコンクール）

【日 時】 2000年7月27日（木） 13：30～15：00

【会 場】 如水会館（東京都・一ツ橋）

【出席者】 高円宮殿下 [コンクール名誉総裁]
 高円宮妃殿下
 川口 順子 環境庁長官
 岡田 康彦 環境庁事務次官
 太田 義武 環境庁企画調整局長
 松村 隆 環境庁環境保全活動推進室長

石井 吉徳 地球子どもクラブ会長／富山国際大学 教授
 井田 敏夫 // 専務理事／株式会社井田企画 社長
 田中 豊蔵 // 理 事／元朝日新聞論説 主幹
 江森 陽弘 // 理事 審査委員長／元朝日新聞編集委員
 長沢 光男 // 理事 審査委員／環境ジャーナリスト
 森 ミドリ // // // /音楽家
 岡崎 友紀 // // // /女優
 弥永 理絵 // 審査委員／環境庁環境保全活動推進室
 飛鳥 童 ポスターコンクール審査委員長／画家

藤田 彰 佐藤工業株式会社（理事代理）
 高橋 利幸 佐田建設株式会社
 岡部 修二 トヨタ自動車株式会社
 安村 朝昭 松下電器産業株式会社
 北條 賢吾 松下通信工業株式会社
 岡田 太一 大成建設株式会社
 内山 順子 株式会社・デザイン株式会社
 中村 浩子 //

細谷 義隆 トライボット・プランニング株式会社
 樋口 博夫 //
 南埜 良平 //
 橋本 知洋 //

中川 聡 トライボット・デザイン株式会社
 廣瀬 小夜子 ビーラックスオアシス株式会社
 黒河内 孝一 学校法人 野方学院
 郭 志豪 シンガポール大使館 一等書記官
 ルーテス G・ソリマン・タバモ フィリピン共和国大使館 副領事

国内入賞者	6名	海外引率者	8名
海外入賞者	15名	通訳者	8名
入賞者家族	25名		
マスコミ関係者	2名	朝日小学生新聞・TBS ラジオ	

Ⅲ 入賞者一覧

【作文部門】

高田 宮 賞	小学生部門 『友達にプレゼントしたら……』 大阪市立鷹合 <small>たかあひ</small> 小学校 5年	山田 真也 <small>やまだ しんや</small>
	中学生部門 『校舎にでっかいハト誕生』 大阪市立中野 <small>なかの</small> 中学校 2年	山田 圭祐 <small>やまだ けいすけ</small>
環境庁長官賞	小学生部門 『動物たちへしてやれること』 沖縄県名護市立東江 <small>あがりえ</small> 小学校 5年	米須 清直 <small>こめす さやなお</small>
	中学生部門 『私たちの地球』 愛知県岡崎市立美川 <small>みかわ</small> 中学校 3年	田辺 あかり <small>たなべ あかり</small>
優 秀 賞	小学生部門 『ぼくが地球に出来る事』 宮崎県小林市立小林 <small>こばやし</small> 小学校 4年	村上 厳寛 <small>むらかみ としひろ</small>
	中学生部門 『私のこの手から』 富山県魚津市立東部 <small>うおづ とうぶ</small> 中学校 2年	上里 祐子 <small>あがり ゆうこ</small>
地球子どもクラブ賞	小学生部門 『最愛の地球を私達の手で守るために』 京都府綾部市立綾部 <small>あやべ</small> 小学校 5年	野島 亜悠 <small>のしま あゆ</small>
	中学生部門 『地球を守ろう』 北京第二実験小学校 6年（中国）	李 思遙 <small>リー スーヨウ</small>
特 別 賞	中国 『地球の保護を、私から』 北京文匯 <small>ぶんかい</small> 中学校 1年	田 飛 <small>テン フエイ</small>
	インドネシア 『地球上の汚染』 アングカ第九小学校 6年	ラニー・オクリア
	インド 『地球を救うにはまだ間に合う』 ラグビー・シ・ジュニア・モダン <small>ラグビー シ ジュニア モダン</small> 小学校 5年	ニラジ・レイ
	インド 『地球を守ろう』 アーミー・パブリック中学校 3年	ニティ・バーチャ
	シンガポール 『環境を守ろう』 ナンヤン女子中学校 2年	フ・ジエヌイ・ジヤスミン
	フィリピン 『地球を救うため、今立ち上がろう』 ホリー・スピリット小学校 5年	プリンセス・ヘルナデッテ・マンガン
	フィリピン 『地球を苦しめることをやめ、地球を救おう』 バヤニハン中学校 2年	マリア・エスマラダ・ジーン・チュア

【ポスター部門】

高 円 宮 賞	小学生部門 『美しい山河・美しい微笑み』 ミョンドン初等学校 5年	チェ・ウジユ (韓国)
	中学生部門 『地球を守ろう』 キーツ・ワ第2中学校 2年	パング・キ・ウオイ (マレーシア)
環境庁長官賞	小学生部門 『地球を守ろう』 テマセク小学校 5年	ロウ・シユ (シンガポール)
	中学生部門 『私の地球を壊さないで』 カニシウス中学校 2年	リャン・リカルト (インドネシア)
優 秀 賞	小学生部門 『地球を守ろう』 ワットクラトムスアプラー小学校 4年	ソーシラット・パタックキナン (タイ)
	中学生部門 『一滴の水も大切に…』 ウォンチョン中学校 3年	イ・キョソウン (韓国)
特 別 賞	マレーシア 『地球を守ろう』 クオ・ミン・セムハン小学校 4年	ヨンク・カンク・ニク
	タイ 『環境破壊のない村』 パークチョン中学校 3年	ジンタナーカーン・マニーラット

IV コメント

【応募数】

本年も昨年同様、告知用ポスター（1500部）を全国都道府県の各小・中学校、県教育委員会、各市環境局、図書館、PTA関係、マスコミ各社に郵送し、広く募集をかけました。しかし、当初沖縄サミットのプレイベントとしての開催を試みていた関係で例年より応募期間を短くしたため、昨年に比べ国内からの応募数がほぼ半数に減少しました。一方、海外についてはフィリピンを募集国に加え合計8ヶ国の各協力機関を通し募集をかけたところ、作文・ポスターとも昨年を大幅に上回る応募がありました。

【作品内容】

環境問題に対する取り組みがより周知されてきた証しか、自分の身近な問題や実際に取り組んでいる具体的な対策などについて書かれた作文が多く見られました。またグローバルな視点で自国で問題となっている環境破壊について述べる作品もあり、いかに子供たちに対する環境教育が世界的に広まっているかが察せられます。しかし、応募者が海外の場合は上流階級者が多く、国内では地域に偏りが見られるなど、環境保護運動の浸透性がまだスポット的であることも見うけられました。

本年度のポスター部門の受賞作品は全て海外からの応募作品となりましたが、審査委員長を務めた画家の飛鳥童先生も感心するほど、大人顔負けの表現力や発想をもった作品ばかりでした。その色使いや構図の大胆さ、テーマの切実性などといった創造性は今回の国内作品にはあまり見られませんでした。

【授賞式】

皇太后ご崩御のため出席が危ぶまれましたが、今年も高円宮殿下、妃殿下ともにご臨席賜り、川口順子環境庁長官にも出席いただき、各受賞者に賞状、メダル、記念品をお手渡し頂けました。各国の民族衣装をまとった華やかな子供たちの笑顔に満ち、和やかな雰囲気の中、式は滞りなく進みました。